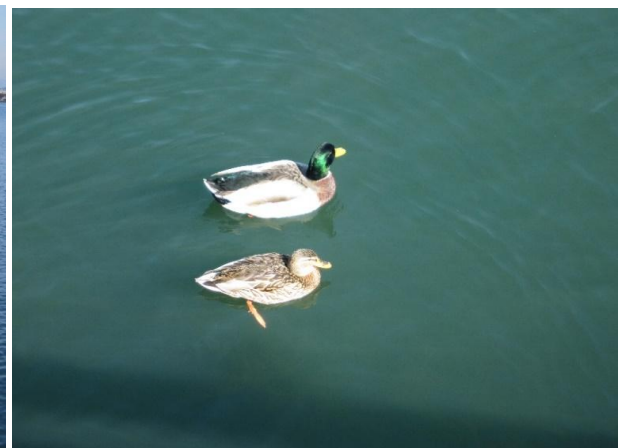


株式会社 宇野工務店

2024年度

環境経営レポート

(対象期間:2024年4月1日～2025年3月31日)



発 行 日

2025年5月20日

発行責任者

宇 野 真由美

1 取組対象組織・活動

事業者名及び代表者名

株式会社 宇野工務店

代表取締役社長 宇野きみ代

所在地

本 社 〒520-0834 滋賀県大津市御殿浜 1 4 番 1 2 号

資材倉庫 〒520-0834 滋賀県大津市御殿浜 1 3 番 1 6 号

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者 宇野 真由美

連絡先： 077-537-1516

連絡担当者 宇野 真由美

連絡先： 077-537-1516

事業活動の内容（認証・登録範囲）

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、屋根工事業、塗装工事業、
防水工事業、内装仕上げ工事業、建具工事業

許認可

特定建設業 滋賀県知事許可番号（特一4）第10262号

事業の規模

売上高 878 百万円／2024年度

生産量や工事件数 478 件／2024年度

全従業員 10 名（2024年4月1日現在）

事業組織

面積：㎡	本社	資材倉庫床面積
事務所床面積	385	—
駐車場面積	174.47	—
資材倉庫床面積	—	129.92
資材倉庫敷地面積	—	917.94
従業員 名	10	0

過去3年間の環境負荷の実績

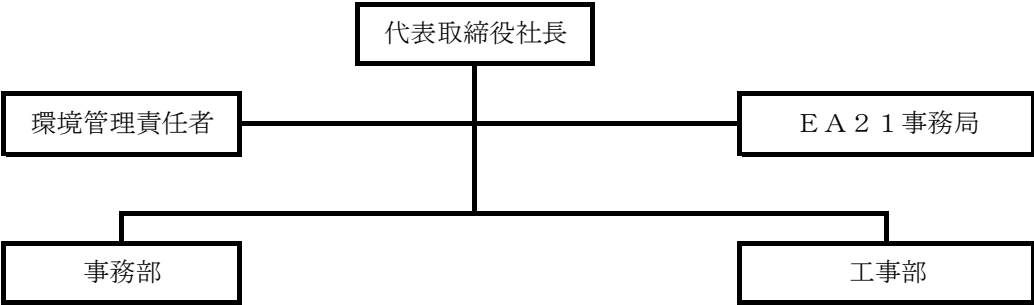
	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	34,427	35,423	39,559
二酸化炭素排出量原単位	Kg-CO ₂ /百万円	84.4	75.7	45.1
廃棄物の排出量	t	37.4	26.3	6.4
水の使用量、排水量	m ³	25.0	26.0	21.0
化学物質の使用量	k g	2.26	2.00	1.5

*当社の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日です。

*購入電力の排出係数は、関西電力2020年の調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWhを2022年から2024年の3ヶ年間固定します。

*化学物質の使用量は極微量の為、目標に掲げず、適正に管理します。

EA21実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
	⑥環境経営レポートの承認
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境経営活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境経営活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧E A 2 1に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境目標及び環境経営計画の実施とE A 2 1事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
E A 2 1 事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートの作成
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

株式会社 宇野工務店

環境経営方針

環境理念

当社は、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、豊かな自然に恵まれた郷土の自然環境保全のため、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当社は、滋賀県の湖南地域を中心に建築工事を主として、建設事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
 - ① 事務所での電気使用量及び車両の燃料使用量を減し、CO₂の排出量を削減します。
 - ② 事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、建設廃棄物を削減します。
 - ③ 事務所や現場での節水に努めます。
 - ④ 建設現場から排出する水の汚染、汚濁を防止します。
 - ⑤ 建設現場では、環境に配慮した施工を推進します。
 - ⑥ 使用する化学物質の使用量を把握するとともに適正管理します。
 - ⑦ 環境活動として地域清掃活動に参加し社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は、全従業員に周知、徹底します。

2010年10月13日 制定
2022年4月1日 改訂

3 環境経営目標とその実績

エコアクション21は2011年4月より環境活動に取り組んでいます。尚、2021年度を基準年として2022年から2024年までの中長期環境経営目標を設定し、この環境経営レポートでは、2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日）の運用実績について取りまとめました。

				中長期		中長期	
環境経営方針	取組項目	年度	2021年	2024年（取組年）		2025年	2026年
		単位	（基準年）	（目標）	（実績）	（目標）	（目標）
事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、建設廃棄物を削減します。	電力使用量の削減 （kWh）	目標%	100%	97%	88.0%	97%	97%
		使用量	11,057	10,725	9,733	10,725	10,725
		（kg-CO2）	3,881	3,765	3,416	3,765	3,765
	ガソリン使用量の削減 （単位：L）	削減%	100%	97%	122.1%	97%	97%
		使用量	9,660	9,370	11,799	9,370	9,370
		（kg-CO2）	22,411	21,739	27,374	21,739	21,739
	軽油使用量の削減 （単位：L）	削減%	100%	97%	331.4%	97%	97%
		使用量	1,025	995	3,399	995	995
		（kg-CO2）	2,646	2,566	8,769	2,566	2,566
	二酸化炭素排出量の削減	削減%	100%	97%	136.7%	97%	97%
		（kg-CO2）	28,938	28,070	39,559	28,070	28,070
	二酸化炭素排出/百万円の削減	削減%	100%	97%	72.6%	96%	96%
		（kg-CO2）/百万円原単位	62.1	60.2	45.1	59.6	59.6
事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、建設廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進（建設廃棄物の削減） （単位：%）建設現場	%	100%	-	109.9%	-	-
	%/年	84.3%	85%	93.4%	85%	85%	
事務所や現場での節水に努めます。	事業所利用水の節水 （単位:m ³ ）	%	100%	97%	116.7%	97%	97%
		m ³ /年	18.0	17.5	21.0	17.46	17.46
建設現場から排出する水の汚染、汚濁を防止します。	建設現場から排出する水の汚染、汚濁を防止監視（単位：%）	%	-	-	100%	-	-
		%/年	100%	100%	100%	100%	100%
建設現場では、環境に配慮した施工を推進します。	低燃費、低騒音、低振動の建設機械を使用（単位：%）建設現場	%	-	-	100%	-	-
		%/年	100%	100%	100%	100%	100%
環境活動として地域清掃活動に参加し社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。（単位：回）	%	-	-	100%	-	-
		回数/年	2	2	2	2	2

目標の説明や補足事項などを記載

- 1 購入電力の排出係数は、関西電力2020年の調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWhを2022年から2024年の3ヶ年間固定します。
- 2 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対して建設リサイクル85%以上で取組する。
- 3 水使用量については、事務所、作業所、建設現場における水使用量の削減について実施する。また、建設現場で濁水防止監視を100%に取組む。
- 4 施工現場で使用する化学物質の使用量を把握するとともに、極微量のため環境目標に掲げず、SDS等で適正に管理する。
- 5 環境配慮施工は低燃費、低騒音・低振動型の建設機械を100%使用に取組する。
- 6 社会貢献活動は地域の美化活動等に参加し、環境保全を推進する。
- 7 2025年、2026年の目標は仮目標です。
- 8 上記の目標のほか、建設現場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取組む。

4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	活動計画の内容	責任部門・担当者
事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、建設廃棄物を削減します。	電力使用量の削減 (kWh)	①不用時の消灯 ②帰社時に機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③エアコンの温度管理 (夏季28℃±1℃)	事務部
	ガソリン使用量の削減 (単位:L)	①不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ②暖機運転・アイドリングストップ ③環境に配慮した稼働 ④環境適合建設機械の使用	工事部
	軽油使用量の削減 (単位:L)		
事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、建設廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進 (建設廃棄物の削減) (単位:%) 建設現場	①建設混合廃棄物を分別し、リサイクルを徹底する。 ②無駄な資機材を購入しない。	工事部
事務所や現場での節水に努めます。	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	①水洗トイレの水使用量を減らす。 ②水を流しながらの洗い物はしない。	事務部
建設現場から排出する水の汚染、汚濁を防止します。	建設現場から排出する水の汚染、汚濁を防止監視 (単位:%)	①建設現場から排出する水の汚染、汚濁を防止監視する。	工事部
建設現場では、環境に配慮した施工を推進します。	低燃費、低騒音、低振動の建設機械を使用 (単位:%) 建設現場	①低燃費、低騒音・低振動型の建設機械を100%使用する。	工事部
環境活動として地域清掃活動に参加し社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位:回)	①地域の美化活動等に参加し、環境保全を推進する。	工事部

取組みの紹介

- 1 節電・アイドリングストップの啓発と励行
- 2 建設廃棄物の分別徹底で、リサイクルの推進
- 3 水使用量の削減及び建設現場からの濁水監視の励行
- 4 施工現場で使用する化学物質の使用量を把握し、SDSで適正に管理
- 5 建設現場では環境に配慮した施工の推進
- 6 地域の美化活動等に参加

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

○・・目標達成 △・・目標を105%以内達成 ×・・目標未達成

環境経営方針	取組項目	2021年 基準年	2024年（取組年）			取組みの評価
			（目標）	（実績）	評価	
事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、建設廃棄物を削減します。	電力使用量の削減 （kWh）	100%	97%	88.0%	○	節電に対する意識が定着しており、必要箇所だけの点灯、不要時の消灯、機械設備・OA機器等のスイッチオフができています。 目標達成はできているが、遠方の現場が増えたことや、事務所内での作業時間が大幅に減少したことも原因であると考えられる。 引き続き、環境に配慮した冷暖房の温度設定に努め、フィルターのこまめな清掃等を継続して行うよう指導した。
		11,057	10,725	9,733		
		3,881	3,765	3,416		
	ガソリン使用量の削減 （単位：L）	100%	97%	122.1%	×	取引先から遠方の工事依頼が増加しており、近隣の現場に限定するのは困難となっている。 九州の現場を筆頭に、遠方の現場が多くなり、ガソリン使用量も大幅に増加してしまった。 移動距離が長くなっているため、今まで以上に無駄な往來がないよう、移動は効率よく、安全に配慮した燃費の良い運転を徹底することを指導した。
		9,660	9,370	11,799		
		22,411	21,739	27,374		
	軽油使用量の削減 （単位：L）	100%	97%	331.4%	×	九州の現場までの移動・運搬をトラックで行っていたため、大幅に軽油の使用量が増加した。人員に余裕がないこともあり、現場の都合で往來が多くなってしまった。 今後、無駄な往來がないよう、移動は効率よく、安全に配慮した燃費の良い運転を徹底するよう指導していく。
		1,025	995	3,399		
		2,646	2,566	8,769		
	二酸化炭素排出量の削減	100%	97%	136.7%	×	
		28,938	28,070	39,559		
	二酸化炭素排出/百万円の削減	100%	97%	72.6%	○	
		62	60.2	45.1		
事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、建設廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進（建設廃棄物の削減） （単位：％）建設現場	100%	-	109.9%	○	分別リサイクルの推進に努めた。
		84%	85%	93.4%		
事務所や現場での節水に努めます。	事業所利用水の節水 （単位：㎡）	100%	97%	116.7%	×	啓発ステッカーで目頃から節水に努めた。例年よりも暑い日が続く、事務所周りの植木の水やりの回数が大幅に増加したことなどから、目標を達成することができなかった。節水に対する意識は定着してきているので、今後も継続して節水に取り組んでいく。
		18	17	21		
建設現場から排出する水の汚染、汚濁を防止します。	建設現場から排出する水の汚染、汚濁を防止監視（単位：％）	-	-	100%	○	建設現場から排出する水の汚染、汚濁監視を行い防止した。
		100%	100%	100%		
建設現場では、環境に配慮した施工を推進します。	低燃費、低騒音、低振動の建設機械を使用（単位：％）建設現場	-	-	100%	○	建設現場では、低燃費、低騒音・低振動型の建設機械の使用ができています。
		100%	100%	100%		
環境活動として地域清掃活動に参加し社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。（単位：回）	-	-	100%	○	地域の美化活動に参加した。
		200%	2	2		

次年度の主な取組内容

- 1 購入電力の排出係数は、関西電力2020年の調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWhを2022年から2024年の3ヶ年間固定します。
- 2 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対して建設リサイクル85%に取組みます。
- 3 水使用量については、事務所、作業所、建設現場における水使用量の削減に取組むと共に、建設現場で濁水防止監視100%に取組みます。
- 4 施工現場で使用する化学物質の使用量を把握するとともに、微量のため環境目標に掲げず、適正管理します。
- 5 環境配慮施工では建設現場で濁水防止の監視に取り組むとともに、低燃費、低騒音・低振動型の建設機械の100%使用に取組みます。
- 6 社会貢献活動は地域の美化活動等に参加し、環境保全を推進します。
- 7 上記の目標のほか、建設現場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組めます。

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
資源有効利用促進法	パソコンリサイクル費用の支払い写し	遵守
建設リサイクル法	建設工事の事前届出、建設副産物の管理、排出	遵守
石綿障害予防規則	石綿等使用の事前調査、作業計画、作業の届出	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出など作業実施届出書、解体工事の事前調査・届出	遵守
家電リサイクル法	家電販売店に委託	遵守
自動車リサイクル法	新車登録又は廃車時の管理(専業業者に委託)	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検の実施と引渡し、解体工事時の事前調査	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
排ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程	対策型ステッカー貼付けの建設機械の使用	遵守
低騒音型・振動型建設機械の指定に関する規程	ステッカー貼付けの建設機械の使用	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守

注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

・EA21環境経営システムの運用により、社員に意識が定着している。認証登録から12年を越え、削減目標は定めるものの現状維持が当面の課題である。
 ・電力使用量は、繁忙期の残業時間増加により未達となった月もあったが、年間を通じては目標を達成することができた。
 ・ガソリン・軽油使用量は、事業範囲の広域化に伴い目標達成が年々困難になってきている。前例のないほど遠方の工事を受注し、資材の運搬及び従業員の移動距離が大幅に長くなったため、ガソリン・軽油使用量が大幅に増加してしまった。日々改善を図りながら、取り組み内容を実施していく。
 ・EA21への取り組みにより、環境問題に対する意識の共有を図り、地球環境を良くすることに少しでも貢献できるよう、EA21環境経営システムを運用して、環境に配慮した事業活動を展開しながら、地域に貢献していきたい。EA21への取り組みには問題はなく、継続して環境経営に取り組んでいく。環境経営方針、実施体制については、当面変更の必要性はないが、環境経営目標・計画については、事業範囲の広域化により実態と合わなくなっており、昨今の異常気象も相まって、目標達成が年々困難となってきた。次年度は、環境経営目標、環境経営計画を変更する。

環境経営方針	☒	変更なし	☐	変更あり
環境経営目標・計画	☐	変更なし	☒	変更あり
実施体制他	☒	変更なし	☐	変更あり